



## 視察研修（出張）報告書

令和8年3月3日

十日町市議会議長 様

会派名 希望  
代表者氏名 根津年夫

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

	代表者 確認印		経理 責任者	
報告者	大嶋由紀子			
期間	令和8年1月19日～1月20日			
調査（出張）事項及び訪問先	① きょうだい児の想い～ <sup>南信州きょうだいの会</sup> ～ <sup>長野県箕輪町</sup> きょうだいの活動力～ <sup>吉民家宿夕刊</sup> ② 松本市高齢者福祉入浴助成事業について（松本市役所）			
参加者	根津年夫、中林寛晃、大嶋由紀子			
①	【視察研修（出張）の目的】 きょうだい児（障がいや病気のある子どもと同じ家庭で育つ兄弟姉妹のこ）支援の必要性、現状把握（見えにくい課題の理解）のため			
	【市政との関連性】 きょうだい児について見えにくい声を行政施策に反映させる視点をもち、きょうだい児についての周知や理解に努める。			
	【視察研修（出張）の概要】 ○ 障がいや病気のある子どもと共に育つ「きょうだい児」の実態と課題の把握 ○ 当事者から、がまんや孤立感、将来不安などの思いを伺う ○ きょうだい児は支援の対象として認識されにくい現状を確認 ○ 家族単位での支援の重要性を再認識 ○ 交流の場づくりや心理的ケアなど具体的支援を施策にする必要性			

【視察研修（出張）の成果、市政への反映等】

※視察研修（出張）の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

本視察を通じ、きょうたいいん支援は個別の福祉施策にとどまらず「子どもまんなか」の理念のもと家族単位で支える視点が不可欠であると学んだ。今後、本市においても既存の子育て支援、福祉施策の中にきょうたいいんの視点を位置づけ地域の実情に即した支援のあり方を検討していく必要があると考える。

【視察研修（出張）の目的】

高齢者の健康増進と介護予防を目的とした入浴助成事業の制度内容と効果を調査し、本市における高齢者福祉施設の検討に資するため。

【市政との関連性】

十日町市には日帰り入浴施設が日々存在する。これを観光資源としてだけでなく市民福祉資源として位置づけることは、地域資源の多面的活用という高齢者の健康増進、介護予防及び社会参加の促進を市政課題とも一致する。

【視察研修（出張）の概要】

一定年齢以上の高齢者に対して入浴券を交付し温泉施設等の利用を助成する制度である

- ② 入浴を通じて血行促進や心身のリラックス効果を図るとともに、外出機会の創出や地域交流の促進につなげることでフレイル予防や閉じこもり防止、健康寿命の延伸を目指す福祉施策として位置づけられている。

【視察研修（出張）の成果、市政への反映等】

※視察研修（出張）の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

参考となる点、入浴を「介護予防施策」として明確に位置づけている点、孤立防止、交流の場としての機能となっている。平成9年から継続されていることから「積み重ねることによって地域の健康文化をつくる施策であると感じた。十日町市でも外出機会の確保、高齢者の交流の場づくり、健康寿命の延伸、フレイル予防を考えた事業は十分検討に値する施策であると感じた。

## 視察研修（出張）報告書



令和8年3月1日

十日町市議会議長 様

会 派 名 希望

代表者氏名 根津年夫

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

代表者 確認 印		経 理 責任者	
報 告 者	大嶋由紀子		
期 間	R8 1月27日～1月28日		
調査（出張）事項及び訪問先	① 第13回 木育サミットin東京、(新宿区四谷区民ホール)		
参 加 者	大嶋由紀子		
①	<p>【視察研修（出張）の目的】</p> <p style="text-align: center;">木育の現代的意義を知るため</p> <hr/> <p>【市政との関連性】</p> <p>森林という地域の資源をどのように活かし、 地域の活性化や自治体連携いや木を生かした子育て支援等</p> <hr/> <p>【視察研修（出張）の概要】</p> <p>木育は子どもから大人までが木や森林に親しみ木材の良さや 森林の役割を学び暮らしの活かし取り組みのこと</p> <p>① 心と身体の発達への効果 ② 環境教育 ③ 地域経済、林業再生への寄与 ④ 福祉との接点等</p>		

【視察研修（出張）の成果、市政への反映等】

※視察研修（出張）の成果、市政に反映するために参考となった事項を記載する。

木育は単なる体験活動ではなく、教育、環境、産業政策を横断する施策であると再認識。

幼少期からの木との接触が情緒安定や創造性育成に有効であることを再認識。

今後は十日町市の森林資源を活かした実践的木育政策を検討を進めていく必要性を再認識。